

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

認知症対応型共同生活介護

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取り組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
世田谷	PAO経堂	・人員不足を補うため、業務のICT化を進めるように望みたい。	・生活日誌とバイタル記録を一本化した介護ソフト(アプリ)を使用可能なタブレットの導入を検討しているとともに、利用者のプライバシーに配慮した見守りカメラ・離床センサの導入も検討している。 具体的には、職員の高齢化を鑑みて『使いやすいもの』を重要視し、専門の業者3社に対して仕様・価格の検討を依頼している。	・専門業者(3社)に仕様・価格の検討を依頼した結果が当方の意向と合わなかったため再検討を依頼。現在、3社の再検討結果を比較し、2026年度の導入に向けて準備を進めている。
		・根拠を持った介護が実践できるような研修等の時間の確保をお願いしたい。	・管理者による日々の指導においては、利用者の心身の状態は『人それぞれ違う』ということをふまえ『なぜ、この利用者にはこのような介護を行うのか』という『根拠』を今まで以上に説明して理解を促すようにする。	・各職員に対し15分～30分程度の個別研修(ミニ研修)を勤務時間内に実施している。研修内容は、各職員の理解度に合わせて適宜調整している。
		・日々実践していることが記録という形で残る仕組みづくりを望みたい。	・今後は『活動状況』について、活動中の様子も積極的に記録していくこととする。 また、タブレット導入により、現在『ノートの書き方』に苦労している職員への負担軽減が見込まれるため、より適切な記録とすることが期待できる。	・『活動状況』の記録については、上記研修内でもその必要性を指導しているため、効果が表れてきていると伺える。 ICT化の実施に伴い、よりよい効果が得られると期待できる。

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
世田谷	グループホーム さくらの家	・運営推進会議の議事録は全家族に送付する事を期待したい。	・月に1回ご家族様にお手紙の送付をしている為、運営推進会議後の手紙送付時に一緒に同封して共有する。	・会議が2ヵ月に1回の開催の為その後の手紙送付時に同封している。
		・清潔な部屋で快適に過ごせるように環境を整える事が期待される。	・居室の清掃やリネンの交換は数値化して把握している為、滞らないよう何日に1回は行うという事を、職場会議で検討して実施していく。	・2週間(14日)を目安に行っていくようにはしているが人員体制や感染症が流行ると難しい事もあり。ただ以前より職員間で意識できており実行に移している。
		・本人の希望を把握し、さらなる外出の支援が期待される。	・人員体制が揃った所で各担当常勤より入居者さんと連携を図り、外出支援に向けての情報収集を行う。行きたい所や行いたい事を伺い実践に移していく。	・人員体制が揃っている時は散歩や買い物など行けている。気分転換で外に行くなど以前より「外に行く」意識が高くなっている。

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る 改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
世田谷	グループホーム チューレンポート	1、入所時の説明をより明確化する。	1-1契約時の書類が多く家族の理解が追い付かない事例があったため理解を確認しながら説明を行う。 1-2契約書類以外にメモ等を用い噛み砕いて説明する。	1、同意を受けながらわかりやすい言葉で説明した。
		2、感染症パンデミックや災害発生時の対策を強化する。	2-1事業継続計画を定期的に見直して法人内で情報を共有する。 2-2協力医療機関からの指導を定期的に受ける。 2-3家族懇談会議で災害時対応の説明を行う。 2-4運営推進会議で災害時の協力について話し合う。	2-1、9月に見直しを行った。 2-2、2024年3月19日に実施。 2-3、2025年12月16日に実施。 2-4、2026年3月1日に実施。
		3、地域交流を工夫する。	3-1玄関上がり框にスロープを設置する。 3-2利用者の状況に適した地域交流を検討する。	3-1、ワンタッチスロープを購入し必要時に使用している。 3-2、2025年度は地域の行事参加を増やした。

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
世田谷	愛の家グループ ホーム桜新町	1.職員のキャリア(介護、認知症スキル)に応じた育成を行う	1.具体的な課題について毎月の会議で検討し課題解決をする 必要に応じて外部研修に参加して情報収集を行い共有を図る	1.(社内)入居者の各種データの分析、検討を行い、Drへ共有し処方へつなげられるようにした また、その内容をご家族へ共有実施 (社外)一般企業のWeb研修参加
		2.看取り支援に関する介護スキルを高める	2.社内外の研修(知識習得)や医療関係者等に相談及び連携体制を整える	2.①看取りへの不安等を会議で共有 ②IC実施による医療者と共有 ③看取り時のケア計画を再度確認実施
		3.ボランティアも含め、地域との連携、交流の機会を増やし、災害時の対応も考える	3.運営推進会議やイベント等へご家族や地域の方々に参加を促し、入居者との関りを増やす	3.①毎回の運営推進会議で医療関係者による情報提供 ②近隣住民と合同イベント実施(消防訓練やホームイベント等) ③日用品購入の際、近所の店舗での買い物に入居者と一緒に行き地域の方々との関り機会を作った

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
玉川	グループホーム 奥沢・共愛	定期的なマニュアルの点検ができていない	定期的なマニュアルの点検を実施していくことで、手法だけでなくケアの意義についても意識統一できるようにする	マニュアルの刷新と定期的なマニュアル点検 ・職員のタイムスケジュールを現行の入居者に合わせて見直しを実施 ・排泄マニュアルの見直しを実施
		現在はホームページの見直し中	入居者や地域に向けたわかりやすい情報発信を進めていく	法人ホームページの刷新 ・現時点では未実施のため、パンフレットの内容の見直しを実施

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取り組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
玉川	花物語とどろき	利用者のより豊かな生活の実現に向け、地域との交流を推進するための新たな取り組みが期待されます。	近隣の認知症カフェの利用から始める。	1ヶ月
		法人及び事業所として、人材の育成と定着を図るためのさらなる取り組みを期待されます。	日々の業務中、申し送り時、カンファレンス会議時に、介護職員としての責任や矜持を高めるための指導を実施する。	1ヶ月
		利用者の安全・快適な生活環境の確保に向け、施設設備の円滑な保守管理が望まれます。	施設設備に不具合が発生した際、本社了解のもと、速やかに修繕を実施する。	適宜

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取り組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
玉川	中町グループ ホームふるさと	○利用者の状況に応じて日常生活が、さらに楽しくなるように工夫を凝らすこと。	○単なるルーティンワークとしての生活介助にとどまらず、日々の暮らしの中に「楽しみ」や「生きがい」を見出せるよう、職員間でアイデアを出し合い笑顔で過ごせる環境づくりに努めます。	○人員不足やケア時間の増加に対応しつつ、日課である室内体操を実施し、活動量を確保しました。季節行事として2ユニット合同のクリスマス会を実施することができました。
		○人材の確保と職員の定着に努めて、2ユニット18人定員から3ユニット27人定員に拡大して地域のニーズに応えること。	○必要人員を確保するために多様な媒体を活用した採用活動をする。	○人員確保に向けて採用活動を継続してきましたが、退職者が数名発生したこともあり、依然として人員不足が続いています。今後も募集の強化と職場定着への取り組みを継続します。
		○業務継続計画に沿った訓練を行うとともに規定を見直して、職員に周知し、理解を深めるよう望みたい。	○緊急連絡網および関係機関の連絡先の最新化などを進めます。	○緊急連絡網および関係機関の連絡先を最新の情報へと更新しました。

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る 改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
玉川	ニチイケアセンター用賀	1 運営推進会議の課題に取り組み、運営に活かすことが出来るよう検討することが期待される。	1 ご家族、民生委員、地域包括支援センターに参加頂き方々の意見を取り入れて改善を行っていく。	1 ご家族の参加がなかなか難しい。今後は更に参加して頂けるご家族を増やしていくよう努める。
		2 認知症ケアのプロとして更なる理解が深まる取り組みが期待される。	2 スタッフミーティング、研修を行い、その人らしさを知り続け一人一人に合った介護ケアを行い質の向上に努める。	2 研修等を通じて、入居者本位のケアを行うようにしている。チームとして取り組んでいる。
		3 利用者の尊厳とは何か共通理解を進めることが期待されます。	3 一人一人の人生の歴史を大切に今後ケアに活かす、また勉強会を行い、職員の取組み方、意見交換の場を設ける。	3 年間計画書を通して勉強を行い、職員の意識向上を行っている、スタッフの意見交換も行えるよう努めている。またスタッフのコミュニケーションも大切にしている。

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取り組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
砧	花物語せたがや南	①家族参加の行事や家族同士の交流の機会を早期に実施	毎月施設たよりをご家族に送付。運営推進会議の出席をお願いしています。	案内を更に強化して参加していただけるようにしております。
		②デジタル記録への移行	②本部とも協議させていただき早期に実行していく方向です。	②徐々に変化して無駄な書類等を減らしていく方向にしています。

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る 改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取り組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
砧	ツクイ世田谷宇 奈根グループ ホーム	事故防止対策の強化、報告体制の整備、並びに職員安全意識の向上を図り、組織全体として再発防止とリスク管理の徹底。	①ヒヤリハット事例の積極的収集と分析の実施 ②報告ルールの明確化と報告視野類環境づくり(心理的安全性の確保) ③事例共有やミーティングによる再発防止の仕組化 ④PDCAサイクルによる継続的な改善の実施	ヒヤリハットの事例の収集は進んでいる。報告体制については意識差が見られる。事例共有や再発防止策の実践については一定の効果が認められるものの、PDCAサイクルの運用は定着に課題が残る。

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
砧	優つくりグループ ホーム鎌田	①職員の育成	年間の育成計画を遂行するとともに外部研修にも参加して更なる人材育成に努める。	① 職員の育成 年間計画に基づき、認知症ケアや感染症対策等の研修を実施した。研修内容を職員間で共有し、日々の支援の質の向上に努めた。
		②家族と連携した支援	家族との連携を強化していく 往診報告や日々の様子を随時電話メール共有	② 家族と連携した支援 往診結果や日々の生活状況について、電話やメール等で随時共有した。また、面会時やケアプラン更新時にご家族様の意向を確認し、支援内容に反映した。
		③地域イベントの参加	SNSやホームページを活用し福祉の発信を行いながら交流機会を設けていく	③ 地域イベントの参加 ホームページやSNSを活用し、事業所の取組みを発信した。地域行事や交流の機会にも参加し、地域に開かれた事業所づくりに努めた。

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る 改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
砧	優っくりグループ ホーム喜多見	1 さらに多くのボランティアとの交流が期待される	1 地域の学校や保育園との連携を強化しボランティアの受け入れ窓口を拡大する。	1 近隣保育園・小学校との打ち合わせや情報共有を継続し、交流機会の拡大に向けて調整を進めた。今後も地域とのつながりを大切に、受け入れを継続していく。
		2 職員のさらなる育成が期待される	2 外部研修や資格取得への支援を強化し学び続ける風土を醸成する。	2 外部研修や資格取得の情報を毎月職員へ発信し、参加しやすいよう勤務調整を行った。参加後はミーティング等で共有し、職員全体の育成につなげている。
		3 言葉遣いや言葉がけをさらに振り返り、職員間の共通語づくりにつながることが期待される。	3 月一回の職員ミーティングで実際の言葉がけを振り返る機会を設け好事例を共有する。	3 月一回の職員ミーティングや日々の勤務の中で、声かけや言葉遣いを振り返る機会を継続した。よい対応を共有し、改善点は職員間で確認している。

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取り組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
砧	喜多見グループ ホームかつらの木	HPの更なる内容の充実を期待したい。	本部事務局にて法人全体のホームページ更新に伴う情報更新について業者との調整を行う。	ホームページ更新に必要なテキスト情報や写真素材等を事務局に提出し、随時情報更新を依頼した。
		ヒヤリハット報告書の作成とその活用 に期待したい。	現在使用している「事故報告書」の内容を変更し、ヒヤリハット項目を追加し活用していく。	ヒヤリハット項目を追加した報告書を用い、申し送り時に事例の共有を図った。
		利用者が主体的に参加できる活動を提供するよう期待したい。	自立度の高い方の個別ニーズを捉えて、アクティビティ実施を図っていく。	新規入所者の加入に伴い、体操等で身体を動かしたいとのニーズが発生した。朝10:00頃と時間を設定し、意欲的な方を中心に職員と共に集団体操を実施。 また、個別にフロア内で歩行訓練をしたいとの方がいらっしゃったため、安全に行えるよう見守りを実施した。 また、前回実施した「ゲーゴルゲーム」については、機材の老朽化の為、終了とした。

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る 改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取り組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
砧	グループホーム ちいさな手ふれ あいの街世田谷	1. 夜勤専従職員を含めた職員同士の情報提供で格差が生じないケアにむけ、会議開催時間等を検討し改善する事が望まれる	1. 会議の時間を日中だけでなく、夜勤者の業務開始前等回数を分けて全員が参加できるように計画する	1. 夕方の申し送りの際に、フロアごとにカンファレンスを行い情報を共有し、申し送りノートへの記載も行っている。申し送りノートには確認したらサインをするようにしている。分からないことは、お互いに確認し合うようにしている。
		2. 個人記録の支援状況には、利用者の具体的様子や反応、言葉等課題の評価につながる記録を記載するよう改善する事が望まれる	2. 記録の書き方の勉強会を行い、具体的にどのように書いたら良いかを学ぶ	2. ツクイの動画を見ながらかつ、具体例を示しながら定期的に勉強会を行っている。

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
砧	グループホーム あかり	①利用者一人ひとりの趣味や関心を把握し余暇活動を、さらに充実させることを期待する。	①アセスメント表の改新を行い、利用者一人ひとりに改めてアセスメントをする機会を持ち、またレクリエーション活動の担当者も選定し、充実に努めたい。	①アセスメント表の改新を行い、簡略化したものを作成した。利用者の重度化が進み、個々のレクリエーション活動に限界もあるが、利用者のそれぞれできることをアセスメントで模索し、余暇活動につなげることができた。
		②修繕が可能な個所を明確にし、優先度を設定し、計画的に補修を進め、職員や利用者が安心して過ごせる環境を整えることが望まれる。	②必要な修繕箇所を職員と話し合う機会を持ち、職員、利用者、地域の方々と安全安心に過ごせるよう環境を整える。	②介護補助を雇い、壊れた個所の修繕などお願いし、職員や利用者が安心して過ごせる環境づくりを整えてきた。
		③職員の継続的な学習を支援し、専門性の向上に向けた取り組みを推進していくことを期待する。	③認知症実践者研修等、外部研修に参加できるよう職員に促していく	③毎月のケア会議にて、法令研修や独自の認知症ケア研修を行い、職員の認知症への理解を深める取り組みができた。

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
砧	グループホーム ちとせ	1.当法人の世田谷拠点としての強みを生かし、当事業所のユニット間、拠点内の事業所間の連携を深めるための取組を行うよう期待する。	1.室内での歩行練習時に、居住フロアだけではなく他フロアで居住フロア以外の入居者やご利用者と交流していく。 レクのボランティア開催時にフロアを超えて参加し交流していく。 人員不足や感染症時など、物品の貸し借り、職員がヘルプに行く、調理などの家事支援の代行などを行い、協力し合っていく。	1.ユニットを超えて、散歩やレク支援を協働しながら実施するなどの工夫を行った。 1階みんなんちでのレク活動と一緒に参加をし、階段昇降訓練の際に1階や3階の入居者交流を日々行っている。 毎週の生協の食材配達受け取りの際に、地域の生協組合員さんに仕分けボラに来てもらい、ご入居者と仕分けを行いながら交流している。
		2.拠点事業者間の連携の強化と、法人本部と連携して策定したBCPをより実践的な内容に発展させていく取り組みに期待する。	2.BCPマニュアルをより具体的に実践できるよう、グループホームちとせの現状と照らし合わせた内容に更新し、全職員に周知していく。 また、発災・発症を踏まえた演習などにも取り組んでいく。	2.災害備蓄の見直し(期限を確認し入れ替えなど)や各フロアのリビングや居室の耐震対策、避難経路の確保などは見直して実施している。BCPのグループホームちとせマニュアルはBCP委員会を中心に適宜更新を行い、職員会議等の機会を通じて周知を行っている。 訓練を行うことにより、マニュアルの過不足の詳細を洗いだし改訂中である。 法定の防災訓練実施にあつては各ユニットより在席職員の参加による実施に取り組んでいる。

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取り組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
砧	グループホーム 千歳台さくらそう	①利用者の健康維持に向けて統一したサービス支援を行えるように期待します。	①入居者様の健康維持に必要な知識の標準化や質の向上が出来るように研修や自社看護師による勉強会の機会を設けます。	7月までに看護師による「心不全について」「救命処置」を実施した。7月以降に追加として「吐しゃ物処理」「応急手当」を実施。またホーム全体として「認知症についての理解」を実施。
		②家族や利用者の意向に考慮して楽しみをもって参加できる行事を実施することに期待します。	②感染症対策を実施したうえで、ご家族も一緒に参加可能なイベントを企画していく。	②音楽ボランティアによる音楽会を企画していたが、ボランティア団体とホームとの日程が合わず実施できなかった。改めて今年5月～7月で調整し実施予定である。

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取り組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
鳥山	グループホーム かたらい	・法人の中長期計画を職員全員が知る機会を持ち職員のライフプランと連動出来ると支援の質が更に上がるものと思われる	・法人の中長期計画について職員と話し合う機会を多く作る。 新人職員教育をチーム全体で行う体制を作りなおすため役割分担を再度行う。 その他職員に関しても意欲を持ちながら継続して働き続けられるよう、学習の機会を作る等しながら意欲を持ち働きやすい職場づくりを行っていく。	・役割分担の確認を行い、実際にその役割の中で担当を持ち、運営を行った。今後は役割の変更も含めて検討し、それぞれの担当を担える職員を増やしていく。
		・記録のICTが定着したので次の課題としてDX化により人材育成や人事制度設計を構築してほしい。	・それぞれの職員、立場での役割分担の明確化を行い、チームとしての能力を向上させていく。それと同時に研修計画を利用しながら、個々の支援の能力、質の向上を図る。	・役割分担の明確化実施。個別研修計画を立案し、研修を受けることが出来た。人事制度設計については、方法検討継続中である
		BCP(事業継続計画)については完成してはいるが、一般職員への理解浸透には至っておらず、周知が必要である。	整備はされているものの一般職員が加筆修正する体制をとっておらず基本的に管理者が加筆修正を行う体制となっている。 そのため、身近なものとなっていないことが予想されるため、担当を決め、職員の中でも加筆修正が加えられるようなシステム構築を行う。	・今後会議にて、BCP内容の再検討を行った。各担当の役割が定まってきたこともあり、修正・改善についても役割ごとに行えるようになるように期待している。

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
烏山	木下の介護グループホーム千歳烏山	①行事やイベント等の開催時に家族も参加できる取組みに期待します。	①毎月行事やイベントを行なっていますが、ご家族の参加には至っていません。納涼祭やクリスマス会などの大型イベントでご家族の参加をお誘いし、ご家族との交流を深めていきます。	①9月に行なった納涼祭では、悪天候のためご家族の参加ができませんでした。12月のクリスマス会では複数のご家族が参加することができましたので、引き続きイベント時にはご案内していきます。
		②地域資源の活用やボランティア活動の受け入れが行なわれることに期待します。	②散歩を通じて地域の方や保育園との交流を考えております。また、積極的にボランティア活動の受け入れを行なうことで、さらに開かれたグループホームの運営を行なってまいります。	②11月に地域の老人会の方がボランティアに来てくださいました。継続して来ていただけるように、声をかけていきます。散歩などで地域の方と交流ができるように考えていきたいと思っております。
		③研修やスキルアップの機会を多くの職員が持てる体制や取組みに期待します。	③定期的に本社研修課を招くことで、日数の少ない職員や夜勤専門パート職員にも研修参加できるように調整し学びの機会を増やしていきます。	③定期的に本社研修課による施設での研修を行なっております。本社で研修が受けられない職員でも施設で研修を行なうことができるように取り組んでおります。勤務日数の少ない職員や夜勤専従職員は研修動画を閲覧し、効果測定を行なうことで、スキルアップの機会を設けております。

令和6年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和6年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和8年3月現在)
鳥山	木下の介護 グループホーム鳥山	①ホームでの研修は定期的に実施していますが、中堅層の人材育成の強化により職員のモチベーションを高めていくことを期待します。	①定期的な研修や、個別研修計画の実施、5分間研修など様々な研修を実施して、リーダー層の強化を目的に取り組んでいます。リーダー層の育成が進み、職員とホームの架け橋になることに期待しています。職員自身も生活の一要素であることを自身で理解し、「職員の個性を尊重し活かせる職場」を模索しながら新たな挑戦ができるホームでありたいと考えています。本社や外部の研修を定期的に取り入れるなどして、職員のモチベーションをさらに高めていくことを期待します。	①研修後の研修報告によるフィードバックを行い、研修による効果測定を行いました。また、他施設での勤務を継続的にを行い自身のスキルを確認し高みを目指して行ける様指導を行いました。
		②ホーム長の思いやホームが大切にしていることを可視化してホーム目標を立て、より良い支援に繋げていくことを期待します。	②ホーム長が描く目標や、ホームが抱える課題はユニット会議で話し合いをしています。自立支援や認知症介護力が職員の体格や年齢によっても異なるため、職員一人ひとりの思いにばらつきが発生したり、一部の職員間で完結してしまうことが考えられます。職員自己評価では「労働力にばらつきがある」などの意見がありました。ホームの特徴(どんな介護を大切にしているか)を可視化して優先順位を付け、ホーム全体で共有することで職員の方向性を明確化し、良い入居者支援に繋げていくことを期待します。	②個別に職員へ声を掛け、疑問点や不安点を解消できるようにしていきました。弱点となってしまう部分を補えるように指導を行いました。
		③取組み結果が明確となるよう、記録方法の見直しと職員間での情報共有方法のさらなる工夫を期待します。	③嚔泄や入浴に関するチェック表があり、入居者の状況を把握できるようにしています。入浴は週2回してもらえるように対応を心がけていますが、入浴拒否や体調によって実施できないこともあります。しかし、チェック表は〇×のみで、声掛けしたけれども入浴できなかったのか、どのような拒否があったのかを記録する欄はないため 不明確であり、その度に介護記録を照らし合わせるのも困難が予想されます。チェック表には備考欄があるため入浴できない理由を記載するなど、記録方法の見直しや職員間での情報共有方法のさらなる工夫を期待します。	③記録方法の再指導と記載しやすい書式に変更し、介助の際の拒否や実施が行えなかったものについて備考欄へ簡潔に記載し情報共有していきました。